

## CDM 展開推進分科会の設置について（案）

国土交通省と日本下水道協会が設置した下水道分野における国際協力活動会議の第1回会議が平成20年6月3日に開催され、今後、具体的な施策として「官民連携によるコンソーシアムを形成するための制度・仕組みの構築」、「産学官一体となった人材、技術等の情報共有プラットフォームの構築」、「下水道分野におけるCDMの展開」、「途上国におけるモデル事業の実施」について分科会により検討を深めることとされた。

これを受け、国土交通省と日本下水道協会は、の施策を合わせて検討する「事業活動推進分科会」、の施策を検討する「情報共有プラットフォーム確立分科会」、の施策を検討する「CDM 展開推進分科会」を設立することとした。

「CDM 展開推進分科会」では、民間企業等による CDM 事業の展開を支援するとともに、我が国の温室効果ガス排出削減目標の達成への寄与にもつながるような国の制度等のあり方を検討する。

### < 検討が必要と思われる主な事項 >

具体のプロジェクトが CDM 理事会により登録承認、CER 発行に至るまでのプロセスにおいて現に円滑に進めることが困難となっている部分及びその要因の分析。

国等が支援すべきプロセス及び支援のために必要な具体的な制度や技術等の検討。

制度等を現に展開するための手順等の整理。

### < 第2回推進会議開催までの分科会開催予定 >

#### 第1回分科会（8月上旬目途）

上記の事項のたたき台を提示し、検討。

### < 分科会の構成 >

アドバイザー - 東京大学大学院教授 滝沢 智  
主査 (財)下水道新技術推進機構企画部長 中里 卓治  
地方公共団体や民間企業等からの出席者は公募を通じて決定する。  
国土交通省はオブザーバーとして出席